京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

[illegible]
發行所 京城新報社
仁川支局
東京市京橋區南佐柄木町七番地 東京支局

●齒の養生法

▽總督府醫院村上齒科部長談

齒の大切なることは誰も諳れることなるが此頃總督府醫院齒科主任渡邊亮氏の或る所にて講演せられたるもの通俗的に面白く誰にも了解し易き有益なる最新のものなれば殊に愛兒を持たる、方の參考として左に之を掲載することゝせり

一体齒……即ちはと云ふ音は非常に人の注意を引く音で例へばものの始め終り博士、博學、發展、發明、叛亂、白痴、羽織、袴、花嫁、花婿、鬼も十八蛇も廿と云ふ風に何につけても此のばと云ふ音は人の耳を刺戟して居る様に思はれる……など餘計な事はまづ此位ひにして齲齒に就いて御話しを致しませう

人の齒は言語の調節と食物を咀嚼する爲めに出來たもので有るが併し折角其の爲めに發生する齒も病的に發生する事もないではない即ち齒牙の排列不正とか下顎突出とか咬合不全などと云ふ事は多く齒牙發期や交換期(八才頃)の折に特に親たる者の注意不注意に基づく事が多いのであります

私の曾て東京大學病院の齒科に居りました時に或日六歳に成る非常に可愛らしい令孃が御母様に連られて受診に來られましたので早速診察致しました處がどうも誠に御氣の毒な事には齒科の治療では既に治らない程齲齒が進んで下顎骨の腐骨を起こして居るので直に外科へ廻して下顎骨の一部を切除して取つて仕舞いましたが何しろ顎骨の四分の一位ひを切り除けたのですから病氣は治つても下顎骨の咀嚼運動が出來なくなつた爲め食物の咀嚼も出來ず又發語不能で言葉は解りませず舌は運動せないばかりでなく患者が打伏すか上を仰けば直ちに舌が氣管を塞いで窒息すると云ふ有樣で附添の者は分時も心を安すめる事が出來なかつたのですそんな風ですから患者は食物としては牛乳やソップの様な流動食を少しづつ口から器械(水銃)で流し込むより外何にも攝取する事が出來ませぬ譯で好きな御菓子一口だに口に入る理に參りませんので營養は益々不良で體は益々痩細り日一日と衰弱しますので其兩親方の心配は一通りでは御座ませんでした世間では兎角一人息子や一人娘に能くこんな事が有勝で御座いますが私は其御兩親に向つて早く御孃さんの齲齒を治療さへ成さつて置けばこんな事には成らなかつたものをと申ました處御兩親も早涙を浮べて……實は私共が全く惡う御座いました途娘が齒科醫の處へ參りますのを嫌つて仕様がないものですから明日は治るか明後日はとほんの一時の事と思つて居りましたのが遂々こんな事に成ましたと後悔されましたが俗に倒れぬ先きの杖とは此事を云つたので兎角齒の治療は早い程宜敷ので早ければ從て痛も少なく日數もかゝらないし完全な事が出來ると云ふので御座います小供の齲齒は特にです。

雜報

●日鮮人採金法（比較）

平安北道に於ける朝鮮人の經營する製金水車を約五百と見一晝夜一臺に就き六袋を搗き得べく一袋普通七八分なるも先最少限五分と見六袋にて三匁を産するものとし水車が一年間に運轉する日數を約百日と假定せば朝鮮人の經營する水車のみにて一年三百貫を算し一貫目三千圓とすれば正に九十萬圓となり此外日本人が靑化法にて一年約四十萬圓を得べし靑化法とは朝鮮人の水車にて搗きたる金の滓を非常に安く買ひ來り大なる桶に入れ下部に小さなる口を開けそれより亞鉛盤の樋を附し桶の上より靑化加里を注ぐ而して金は靑化加里と融化して流れて樋に入り金のみ亞鉛盤に附着して加里は流れて出づ斯くて其流出せる加里を再び桶中に注ぎ幾回も前述の法を繰返し亞鉛盤に多くの金附着せる時之を採るものにして朝鮮人の今日迄全く滓として捨て去りたるものより朝鮮人が産する金總額の半ばを産する事を得て科學の効大なりと云ふべし靑化法を行ふには最も正確に規律を守るものを使用せざるべからず此點に付ては朝鮮人より支那人の方規律正しきなり咸鏡道にても昨今漸く靑化法を始めたるが該道にける金の産額は約六七十萬圓なるが此法の普及と共に倍加することなるべし云々と某礦業家は語れり

文苑

●折にふれて　松翠生

稲積みし馬ひきもどる村はづれ
柳の枯葉ほろほろと散る
○
勤め終へ立歸りたる我門に
疲れ忘れて子等が上思ふ
○
衣濯ぎ子等をいたはる更けし夜に
雨戸をゆする風の音きく
○
吹く風に落る木の葉のさそはれて
ひとり文よむ窓を打つなり
○
霜白きみちをたどりて朝詣で
願ほどきする二人づれかな

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者九皐館去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

外事一束

▲獨逸　將校三名清國革黨の爲武昌に處刑さるとの説北獨逸に行はれ獨國否認

▲佛國　議會愈六日を以て獨佛通商條約の内容に關して討議を開始すべしと

▲一度　危機に瀕したる英獨關係は稍親善に至りたるも英の政策は毫も不變

▲伊軍　ダ海峽封鎖計畫を中止す蓋し同計劃の英土兩國の利益に關係無故也

▲暹帝　御名代宮殿下に對しチャクリ最高勳章を御贈進に相成り隨員亦▲敍勳あり皇帝皇后百官と共に宮殿下の御一行を離宮に迎ひ歡待不盡なし

▲英宰　相帝國商業調査委員を任命し速かに之れが完成を期せんと言明すと

▲英國　新保守黨首領外相の演説に何等の評論を加へず唯英國が獨に對して

▲獨宰　なきを保證し首相亦右の演説に同情を寄せ英の外交上に秘密無と云

梁川庄八

小金井蘆洲演

第四十七回

折柄ら拜殿の方から三人の侍がやつて來た、何れも十二分の醉面の容子で、先へ立て來たのが北浦新吾、後へ續いて齋藤左司馬山田源左衛門、皆里見家の家來でございます、此北浦新吾と云のは納戸役を勤めて三百石を取ている、殊て上總屋の娘お波に懸想をして毎度煙草を買に行く、先方でも城中の旦那様だと思ふから、叮嚀に世辭を云ひおなみが愛嬌を振撒く者だから、北浦は自惚れで、あの娘は乃公に心があるらしい是れは妻を乃公の妻に申受けよふと、自分一人で勝手に定めて、或時齋藤左司馬山田源左衛門兩人を媒介人に頼み、妻に致したいからと話を持込むと、上總屋與兵衛は、折角御城中の御身分のある旦那様から御懇望上たくは存じますが、彼れは獨娘で聟を取ります身で、他家へは嫁づけませんで、手前共の家が立ちませんので、何うか悪からず思召しまして、何分御本人様へ宜敷御取繕を願ます、と体よく斷つした、夫でも強つてとは云はれませんから二人は立歸つて、北浦新吾に話をすると、まさか三百石の祿を捨て煙草屋へ養子に行く譯にもなれず、是以無き縁だと諦きらめやうと云ふので斷念をして了つた、北浦新吾は其後も度々煙草を買ひに行て貌を見てはせめてもの心遣をして居た、所が近頃になつて何時行てもお波が姿が見へないので不審を打て、何うした事であらうと近邊で容子を聞くと、本町三丁目吳服渡世の花屋吉兵衛の伜吉之助方へ嫁ついだと云話を聞いて、イヤ烈火の如くになつて怒つた、早速齋藤山田の兩人に面會をして、怒の数々を並べて 新「各々方は間へ立つて媒介人口をお利きなされたのか、拙者の前は能いやうに繕つて、他家へ縁付けるとは何事でござる、朋友の間柄で此北浦新吾を一杯飲めたのでござるな」所「イヤ夫は怪しからん夫んな事は我々兩人夢にも存せん、只今承るが始めて宜しい、今日是からト總屋與兵衛方へ赴いて掛談に及び、精様によつては將叙を手討に致して身公のお顏を立るから、夫に就て種々相談を致すには安處では人に洩れるといけぬから、白濱辨天の境内で寄合て相談を致さう」と三人申合せて各自に吸筒の用意を致し拜殿にて一杯呑みながら、先方が斯う出れば此方も斯う云て、揚足を取てやろう、斯う來たら斯うと、程なく評議一决をして何れも若い連中ですから、前後の勘辨も薄く、さあ押出そうと三人打揃つて辨財天の拜殿を出掛けた、路町をして居るから聲高らかに謡ひなどを唄ひながら、鳥居の際まで來る、折しも恰度立花屋吉兵衛の家内がお波と相合傘で参詣に参りました、是を見た北浦新吾が 新「コレ齋藤山田、向からお波が参つた、是ぞ當辨財天の利益能い處で出遇つたわい、何でもあのお波を一つ屋敷へ引揚げて置いて掛合へば此方の勝利は定まつて居る、拙者が斯う云ふにするから、君達は斯う〱云ふ事にして、宜敷拙者の意に貸くやうに」齋「宜しい萬事呑込んだ…いさやり給へ」と云ふも心得たり北浦が、ハラ〱と駈寄つて突然とお波の手首を無闇と押へ新「波ー…手前に久しく會はん「是は〱譜人かと存じます内の旦那様御機嫌宜しうご新「御機嫌宜しいも糸瓜もあるものか、コレ手前はなんで此方へ斷なしで、花屋吉兵衛枠吉之助方へ縁付いた、斯くては拙者一分が立たぬ、さあ勘辨能りならんぞ」波「是は怪しからぬ事を仰しやいます、妾が何處へ縁付ましたからとて貴方様の御立腹を蒙ります譯がございませぬ、何か貴方と妾と譯でもあるやうに、若しや姑に疑念を蒙りますと、妾の身より却つて旦那様の御身分に係りませう、御冗談は止し下さいまして」新「默れつべこべ囀るな、汝れ此儘で拙者を瞞着やうとて然うは行はぬぞ、斯く云拙者汝を妻に申受けんと、山田齋藤の兩氏を媒妁に頼み、其方親仁に談判に及んだ所、親仁は何處へも縁付けぬと云切つて置きながら、此方へ一言の斷もなく立花屋吉兵衛方へ遣したは、我々共を踏付けにした致方ぢや、斯く申す北浦新吾の一分が立たぬ、是より其方を同道して屋敷に参り、三日なり四日なり我が奥にして夫から後に示談にしてやる、其上何れとも其方の勝手にしろ、一先其方を我屋敷へ伴れて行かねばならん」と無理往生に引立る



東京電報

▲非政友同盟畫策　中央倶樂部の下に支那問題を中心とし非政友同盟畫策中なり

▲地方官の交迭說　議會閉會後地方長官の更迭あるべしと傳ふ

▲守備兵の配置　在留民保護の爲め我政府は幾きに步兵一大隊（內二中隊は龍山）及機關銃隊一隊を派遣しが此の兵員七百五十名は秦皇島に上陸後阿部少將（北清駐屯軍司令官）の麾下に入り同司令官指揮の下に北京に二中隊天津に三中隊及機關銃隊を配置し又先きに北清駐屯兵は北京に一中隊天津に四中隊山海關に一中隊となる譯なり

▲波斯分割說　英露兩國間に波斯を分割せんとする密約存在せりと一般に信ぜられつゝあり

▲露國波斯に派兵　露都來電によれば露國は愈々軍隊をペルシャ國境に派遣すべき命令を下せり

▲遼陽事件と政府　遼陽に於ける支那官兵の吾兵射擊行爲を耳にせる政府は事態容易ならずとし近く何等かの行動に出づべし

北京特電

▲各國兵士の入京　和蘭兵は五十名佛國は五十名獨逸は二百名各々二日北京に入れり

▲三國政府の注意　武昌の現狀は只開城せざる迄なり湖北軍は既に黎元洪と共に歸順し其一部たる第十五步兵旅團に屬する兵は解隊して窃かに故鄕に死り在城兵尙多きが如くなるも新募兵入分を占む然れ

上海電報

▲南京官軍四散　一日夜半より猛烈なる鉄砲火の下にありたる南京城は二日未明に至り官軍逃走者相次ぐ

を始め革軍此の機を逸せず總攻擊に移り太平門より進める一隊は眞先に侵入し午前十時過遂に革軍の手に歸せり官軍は四散し拾收すべからず

▲黃興南京に行か　南京陷落の報に接する當地の歡聲響ふるに革軍の氣大に揚る黃興は急ぎ善後の策を講ずべし

▲張勳生死不明　張勳は革軍の攻擊に對し能く力戰したるも形勢不利と見るや逃れて浦口にありとも又戰死せりとも云ふ總督鐵良は日本領事館にあり

雜報

●植民地豫算概額　明年度各特別會計豫算は大藏省に於て次審議に附せられつゝ殖民地豫算は孰れも此の調濟みとなれるにより同省に於て目下之れが調査中なるが省及び拓殖局に於ける各植民地より要求に係るものは本年度に比し殆ど增減なきもの、如し即ち

四十四年度（朝鮮）四千七十餘萬圓（臺灣）四千三百六十餘萬圓（樺太）二百十餘萬圓（間島）四百九十八萬圓（合計）九千九百四十餘萬圓

四十五年度（朝鮮）四千八百七十餘萬圓（臺灣）四千二百六十餘萬圓（樺太）二百十餘萬圓（間島）五百餘萬圓（合計）一億餘萬圓

にして唯臺灣總督府に於て二百萬圓前後の增加を見たるは臺灣に於ては基隆港灣擴張の計畫を爲しつゝあるが故にして樺太にありては鐵道の第一期線は本年度に於て完成したるを以て明年度以降は鐵道院より借入れたる材料費消却等に充實なるとの事なりと云ふ

●爲替貯金現計　朝鮮總督府郵便爲替貯金管理所に於ける爲替貯金高は人員十七萬六千餘人金額三百九十六萬百八十圓にして前年同期に比すれば人員一萬六千百四十八人金額に於て百四十四萬圓餘の增加なり之を日本人鮮人別にすれば日本人十一萬千五百十人金額三百六十二萬八千六百六十三圓にして鮮人は一萬六千五百四十三人金額十六萬九千圓餘なりと併して前年より日本人一萬三千三十三人鮮人三千八百七十圓餘を增加したりと云ふ

●國境河川調査　豆滿江鴨綠江に於ける日滿兩國の國境協定及漁業條約締結に關して過般來吏員を特派し實地調査中なりしが此の程歸任したるを以て

●總督府武官交迭　總督府附海軍武官外波少將は今回海軍々令部附となり來る十三日頃赴任すべく後任は海軍少將山本文殿氏總督府附武官として着任の筈因に來る九日京城ホテルに於て外波氏の送別宴を開くべし

●十一月中手形交換額　十一月中に於ける當地手形交換所に於ける交換手形種類別及各銀行持出手形金額左の如し

證書別	枚數	金額
小切手	一〇、九九一	三、〇九八、五九九、八八
送金爲替手形	四二〇	四二三、一四八、三一三
約束手形	三九	三一、二四二、五五
仕拂命令書	一、三六六	五一、七六、七七〇、一四
郵便爲替證書	一、五三〇	二六四、七三四、七〇
公債券利札	七〇二	五九、六九
雜證票	二二六	二〇九、八二三、六〇
合計	一五、一七七	四、五四三、八六七、一七

持出銀行	手形枚數	交換金額
朝鮮銀行	八、八九五	一、一〇三、二六九、九六
第一銀行支店	三、五三三	八〇六、七七九、四〇
百三十銀行支店	四、一四四	六七〇、四八二、九七
十八銀行支店	二、一五一	三〇九、〇九二、八〇
漢湖農工銀行	四三三	五一、〇八一、九八
朝鮮商業銀行	二、六六四	六九六、四六六、三九
韓一銀行	二一	八八、六三一、〇八
漢城銀行	二〇二	八九、三九八、〇三
京城郵便局	七〇三	二六〇、七三四、七〇

●移入超過と半島經濟　移入超過と半島經濟の前途に就き當地銀行家の語る所左の如し

▲足立十八銀行支店長曰く移入超過の可否を論斷する標準の大体よりして其の移入品の種類如何にあるは勿論なるも單に種類のみを以て之れを斷論する能はず例へば彼の金巾類の如き決して贅澤品と稱するを得ざれど其の使用目的如何に依りては或は贅澤品と見做さゞるを得ざる場合もあり得べきことは鮮人等が一枚にて足る白衣を二枚調製する等のこともありとする場合に見て知り得べく該問題の如き一々實際に就きて調査せざるべからざる複雜重要の問題なり尙ほ朝鮮の移入超過問題を日本內地の貿易狀況に照合して其の一部現象と見る時は決して患ふべきものにあらずと說くものあれど例へば日本本土豐作なるも九州のみが不作にして從つて九州地方が他地方より移入する物品の金額超過する場合に於ては依然九州地方經濟界の惡現象なるが如く之れを何れの方面より見るも決して喜ぶべきの現象にあらず云々

▲漢湖農銀支配人曰く假令如何なる事情あるにせよ移入超過の惡現象たるは明にして且つ本年度移入超過の如き或は恩賜公債等に依り一時に鮮人の購買力を增進し彼等が侈奢に流れ贅澤品を需要する傾向を生じたる等其の一因を爲すなきやを保し難し何れにせよ此際之れが防遏策を講じ鮮人間に生產的事業を獎勵し多少にても移入を防ぐの擧に出ずるは朝鮮經濟界の急務たるべく其の獎勵すべき事業の種類に至りては漁業鑛山業等最も移入超過防遏即ち少くとも朝鮮の移出力を增進するに最も捷徑なるものなるが如し云々

●內務部長會議延期　來る十五日より開會の筈なりし內務部長會議は都合により延期し四十五年一月十五日より開催する事に變更したりと云ふ

●勸業債券當籤番號　一日日本勸業銀行に於て抽籤の結果第六回勸業債券當籤番號左の如し

▲一千圓四六、八五八
▲同第五回三百圓三三、九六四、三八
七二三、四五、七一六
▲同第四回二百圓一七、六五四、三八
四九二、四四、一八七

●南大門外道路取締　南大門より南大門停車場に至る道路の險惡なることは前號に記載したるが其の筋に於ては不問に附すべからずとなし同所の道路工事中は荷牛、馬車は一切通行せしめざることになりたりと云ふ

●民會の委員會開議　兼て民會にて民團屠場讓受に於て委員附託となれる民團屠場讓受け及び龍山病院掛下の件に付四日午後三時より委員會を開けり助役及委員は三日龍山病院建築物を檢分せり

●湖南線中商業有望地　最近湖南沿線を視察して歸りし某商人の談によれば論山は嘱望の價値充分なる邑は錦江に貫かれて恩津兩郡に跨がり其地位や連山石城並に右二郡都會の中心點にあり附近一帶は四郡分派の中心點にありて有名なる江景平野（論山人士は之を論山平原と呼ぶ）にして遙かに大田平原に優れり即ち右江景平原は勿論遠く錦江上流の物貨は悉く論山を以て集散場とし今後其物貨を鐵路にて四散せしめんには如何にすとも此處を起點とせざるべからず慧眼なる新時代の商人は早くも着眼し廻漕店の開かれ居るもの既に七八軒あるを見受けたり釜山よりは迫間保太郞氏の店員來つて商業上劃策するを見たり又京城よりも精米業者來七八名入込居れり而して連山江景間の鐵道先月十五日に開通せるが同日より十八日に至る四日間の論山の昇降客一日平均七八十名其間既に京城に玄米二十四噸釜山に八噸を送れり兎に角北は扶餘へ七里、東高山へ八里といふ此間は皆論山里、光州へ九里、南礪山へ八所を設け目下倉庫の建設中なり米穀商の經濟勢力圈內なれば農工銀行も出張所を設け目下倉庫の建設中なり佐々木某といふは年十二三萬石乃至二十萬石を取扱ふ意氣込にて目下盛大なる倉庫、營業所を建築しをれり附近の朝鮮人亦棉反物米穀等を京釜沿線に出荷するに當つても無論論山より鐵道を利用しをれり論山より一里餘にして江景九坪といふ地あり小林某は此所に廣大なる荒蕪地開墾を爲せり附近の地價を聞くに上田ならば一反步百圓以上にて容易に手離さゞる由其原因は東拓會社が買占をなす影響より來れるもの、如し要するに論山を中心とせる全北の資源は今後交通の利便なるに從ひ愈々益々開發せらるべく而して從來は只錦江の水運に依りて漸く群山にのみ送り居たる貨物が今後は京仁よりも釜山よりも又群山よりも手を延し得るに至れるより宛然たる中原競爭の地となり商業上最も多望なることを斷言して可なり云々

●牛馬車の取締　京城市街の道路は荷馳を改めずして不秩序を極め殊に本町通りの如き狹隘なる道路は荷牛、馬車が無制限に荷物を滿載して通るは殆んど道路を壓して往來は危險多きを以て警務總監部に於ては近日荷牛車、馬車取締規則を發布し車体及び荷物の積載量を制限する由なり

●憲兵隊長任命　熊本憲兵隊長笠岡少佐は大邱憲兵隊長に新幕憲兵分隊長細井大尉は少佐に昇進して鏡城憲兵隊長を命ぜられたり

●消防事務と民團　京城民團の經營する諸般の事業は漸次進步しつゝあるに拘はらず獨り消防事務のみは時勢に遲れて幼稚の域を脫せず有事の場合に現在の消防を以てしては奏功せざること關係者の目認する程なるを以て來春を期し民團より東京其他各地の消防事務を視察のため小頭其他を出張せしむる筈なりと云ふ

●移民と施設　東洋拓殖會社の移民に對する施設及計劃を聞くに第一回移民中には江景、金堤管內の如く土地分配上の關係より畑地の貸付を爲し得ざりしものあれども移民の自活上畑地貸付の必要なるを以て同會社は夙に所轄出張所に命じて畑地の買收を進捗せしめつゝあり又造林用地は各戶に相當の面積を貸與に先ち薪炭の供給を十分ならしむる方針なるが當時地籍の明瞭を缺ぎたる爲め買收に着手することを得ざりしも地籍調査の進行に伴ひ同會社は大に造林用地を買收し又は國有林の貸下を請願し移民に付與せんことを期せり又移民の爲めに副業收入を與へ生活上の餘裕を生ぜしむる爲め漸次諸種の副業を撰定し種々の施設を爲さんとし先づ四十四年度より製叺器を各戶に貸付し叺製造に從事せしめしが其製品に就ては可成會社にて販賣上の便宜を購ずべしと

▲敎育機關の普及　せざる爲め移民子弟の就學に不便なる場所にありては學齡兒童數十名以上に達するときは學校組合を組織せしめ總督府の補助を仰ぎ學校を設置し會社は之れが設備並に經營に付て相當補助をなすべく現に羅島に於て學校を新築し會社はその新築費全部を補助せり又學齡兒童數の未だ學校設置に至らざる場合には附近の學校所在地に兒童保護所を設け保姆を置きて子弟の監督に任せしめ會社は保姆の給料及薪炭料等を負擔支出する計畫にて今回發山浦に一ヶ所を設置したり

●仁川驛客車收入　十一月中に於ける仁川驛客車收入を聞くに總計四千二百六十一圓五十八錢にして其內譯は乘車人員は二千九百三十四人乘客賃金三千七百九十二圓七十九錢入場人員八百十八人降車人員三千百〇九人發送小手荷物斤量三萬一千八十三斤同到着七萬五千五百七十斤發送手荷物賃金百六十九圓五十三錢同小荷物賃金三百十圓二十錢なりと

●仁川驛の貨車收入　仁川驛十一月中に於ける貨車收入を揭ぐれば左の如し

發送貨物噸數一三三〇到着一九四〇
發送局用品噸數一九四〇發貨物賃金二二、六七七、〇一錢同手數料三、七三六、八六錢連帶到着賃金一、二六〇、九七錢同手數料二一、一一錢立換金三八四、五〇錢連帶賃金二、二〇錢雜收入五二、四五錢計金二八、一三五、一〇錢

●補充憲兵渡鮮　朝鮮駐劄憲兵隊へ補充の爲め百名の憲兵上等兵は來る十二日宇品發陸軍御用船にて渡鮮一應京城に着したる上各地に分遣さるべし

●宇佐美長官引籠　宇佐美內務部長官は四日微恙の爲め引籠り靜養

●大邱地方裁判所長退任　大邱地方裁判所長判事松下直美氏は今回辭職に付昇等の上退任聽屆けられたるが近々司法官中に異動あるべしといふ

特別通信

群山の風紀問題　其筋の特別調査を望む

在群山　ワイエム生

群山居留地附近に於ける風紀の紊亂は殆んど其極に達しつゝありて刷新匡正を曉望するの論議市民の間に嘖々たり試にその重なるもの二三を列擧せん第一は榮町附近に於ける曖昧料理店移轉問題なり目下群山に於ては商業地の中心、警察署の眼下に於て新築の娼樓軒を列ね密賣淫の盛行空前の甚だしきを極むるに拘はらず當局者は之を特別ですと漫然として看過しつゝあるもの、如し現行料理店飲食店取締規則には客を宿泊せしむべからずとの條文歷然たりと雖も此條例は徒に空文に屬し二十餘戶の曖昧料理店百名を數ふるの酌婦藝妓の別なく客を宿泊せしめ規則違反を爲しつゝあるに拘はらず群山警察署は之に對して何等の制裁を與ふることなし是に於てか密賣淫獨り未曾有の旺盛を來たしその跋扈跳梁殆んど當るべからざるものあり群山警察署は何が故に總督府の方針に從ひ曖昧料理店並に飲食店の類を特定の一區劃に集中するの擧に出でざるか京城既に風紀肅正の先例あり何を顧みて躊躇逡巡しつゝあるか怪訝に堪へざるの次第なり第二は小學校に近接して設置せる屠獸院撤廢問題是なり從來特別料理店敷地內にありたる檢黴所を撤廢して之を廓外に持出したるさへ既に不可思議の骨頂なるに而も之を小學校の前面運動場を距ること百步を出でざるの場所に移轉し同時に之を驅黴院と特定したるに就ては當地具眼の士は例れも其傍若無人なるに憤慨し就中父兄の輩は子弟の敎化上默過すべからざるの出來事なりとし批難の聲頗る嘖々たり第三は民長排斥の目的を以て現出したる群山同志會に對する當局警察署の態度緩漫を極むるもの是なり群山同志會と云へば何にか有力なる團體の如く聞ゆれども其主腦たるものは曖昧料理店の主人若くは二三地主の一群にして問題となるべき程のものにあらず唯坂上民長が近來風規の肅正に向つて鋭進しつゝあるより斯くては自己の利益上打ち棄て置き難しとて代辯中山道雄を會長に押し立て民長に對して辭職勸告の運動を試み或は會員の加入を强請する等に狂態奇劇を演じつゝあるものなり唯怪むべきは右等政治的の運動を爲すべき目的を以て團体を組織するに就ては保安規則により其筋の認可を得べき筈のものなるに其手續をも爲さず群山市民が迷惑を感じつゝある此種の運動に就ても群山警察署は漫然之を默過して何等の注意警戒を加ふることなく彼等の爲すが儘に一任しつゝあるは何故なるや咄々怪事と評するの外なきなり要するに群山の風紀は今や紊亂の極に達し居るに拘はらず群山警察署は何等の取締を行はざるのみならず漫然之を看過しつゝあるより世間にては警察の態度を批難攻擊するの聲高く中には其間に何等かの消息あるにあらざるやなど疑ふもの少からず物論頗る囂々たるものありて群山市民は警務總監部が至急特別の調査を遂けて風紀刷新の斷行に出でんことを切望しつゝあるなり

●齋藤技師の歸任　開城へ出張したる齋藤山林課長は四日歸任す

●澤田課長の歸任　北咸地方の行政事務視察中なりし澤田地方課長は五日歸任すべしと云ふ

●角田憲兵隊副官着任期　今回憲兵司令部高級副官に補せられし角田憲兵少佐は來る十四日頃着任の筈なり

●『貯金のすゝめ』の配付　總督府にては今回各道府郡に對し貯蓄心獎勵の爲め金森通倫著の『貯金のすゝめ』を一般に配付せしむ可く多數を各郡に送付したりと云ふ

公人私人

▲佐藤重次（全南道內務部長）二日釜山行
▲村井興雄（村井銀行重役）二日釜山行
▲久保田堅次（辯護士）二日釜山行
▲高洲規（群山商業會議員）三日釜山行
▲三宅堅吉（模範場技師）三日平壤
▲伊藤繁三郞（國民新聞記者）三日尾旅館へ
▲阿部秀太郞（鮮銀釜山支配人）三日山本旅館へ

▲京城手形交換高▼

十二月四日	三三五、八一二、一八〇	枚數 六四

▲治外法權▼　漢陽が陷落して官軍大に威を振ふとの電報が來たと思ふと、今度は南京が陷落して例の張勳が戰死し、革軍大に勢を得るの電報が來た、ソコで北京や上海の報を一々信ずるとすると何が何やらない事になつて仕舞ふ▲併し掛値なしに淸國の現狀に就いて考へて見ると官軍と云ひ、革軍と云ひ、其ドフチが自動的には何事も爲し得ぬ境遇に居るのだ、若しもソレ長髮亂の時の樣に兩方が本氣になつて戰かつたら、ヌに列國干涉の手が加はるのである▲へば氣の毒なるは今日の支那人にて彼等は自國の政治を改革する爲めのさへ、自由勝手には出來ぬ、黎元洪分割を恐れて、和議に同意すると云たなぜは實に涙の種だ▲例のボロ船同の朝鮮郵船會社の株を、朝鮮貴族に持たせると云つて運動して居る者があるソウだが、經濟上の事は何も知らぬ貴族達をして、虎の子よりは大切な賜公債を、ボロ船屋の喰物にさするは可哀相だ▲大藏省の命か但しは總府が氣附いたのか、來年度の事業公債一千二百萬圓は市場に賣出されると事だ、思ふにソウなつたら、當局が紙の主張に聽いたので、移入超過決の資金の問題も今よりはラクに解決さる譯だ▲移入超過問題に關する各民銀行理事者の意見は本紙と同じ事だ獨り御用の鮮銀理事者だけが、所謂觀を續けて居る、鮮銀と京日、ワレにトチブタとは蓋し之なんめりだ▲群山の風紀問題に關する特別通信は別記載の如し、記者は當局 官 憲の一讀を望む。



玉家『靜江の自白』

(五) △入身供は嬉とは嬉

『翌朝早速い京村さんに事情を打ち明けようと思つて二階の梯子段へ足を踏み掛けると父さんが『オイ靜江待て』と云はれますから何用かと尋ねますと『前夜の事は一切い京都さんに話すな、對し話したら承知せん』との事でしたが『夫では妾氣が濟まない』と申しましたけど『斷然話すことは不能ん』との事でした、而して妾しに小遣を現金十圓呉れました、跡で聞くと榮次姉さんも十圓貰つた相ですが隨分な人だワ』と旬を切つて『い京都さんには右の様な始末で默して居ましたけど心が咎めて堪らない今日は話さうか明日は話さうと思つて居る間に日は經つて十六日の晩、い京都さんと料養新のお座敷に行つて居ましたが十時頃でした高田家さんから貰ひが掛つて來たの、姉さんは貰ひは斷つて終へとの意見でしたが無理に貰つて高田家さんに參りましたが客は奥村さんで榮次姉さんも來てでしたが其晩に限つてソワソワと落ち着かないでした—エー姉さんがよー奥村さんに對しても冷淡なもので木で鼻を括つた如よ、斯うした事かと妾や不思議でならなかつたの併し後に聞くと榮次坦さんは刑事さんと話合を濟まして奥村さんを縛らせる手筈にして在つたのですと『恐いわねエ』と素態を作つて身顫をする、奥村さんも矢張りソワ〳〵として狼在やるから、妾、旦那何か御心配があつて、と尋ねますと、新聞にでも何か書かれたか、とお訊きになる、イ、エ左様ではありませんが旦那がソワ〳〵して狼在やるからよ、と云ひますと、フウン、と云つた限り默つて考へて居でしたが段々顔色が變つて來ましたよ(當時の計算より刑事諸子が奥村逮捕に至るまでの話は聞き捨て)而して酒もタント召らないの、で計算が濟んで玄關へ送り出すと同時に逮捕されましたの、妾や思はず泣きました』と云ひ掛けてハンケチに涙を拂ふ『假令惡人でも御贔負になつた馴染の方ですものね、京城日報には奥村さんは妾の爲めに獄合…と書いてありましたが榮次姉さんが金でも出して廣告代りに出して貰つたんでしよう、夫れが爲め妾や何處のお座敷でも冷評されますのよ、お客様が妾の顔を御覧に成つちや『オイ靜江俺は錢を持つて居るぞ』と仰云てよ、貴許が餘計な事をお訊きになるからよ』と一寸優しく睨むで銚子の加減を試る

●御用記者の末路

▽忘恩者松波龍門

京城日報群山支局員松波龍門は十二月二日限り京城日報社に關係なき旨發表せられたるが今其原因に就き聞く所に依れば同人は從來群山日報記者たりしも同紙の一時休刊と同時に退社せし者なるが他に職を求め得ずして糊口にも窮し居る最中其妻は出産する重ね〳〵の出費も入る處なければ出すに出路なく夫婦悲嘆の涙に暮れ居たるを見るに見兼ねたる坂上民長夫妻其他有力者の庇護を受けて漸く饑餓を脱れ得居たるものなるが京城日報社にて群山支局設置と同時に同支局員に採用され一定の收入を得る如くなるや遽かに倨傲尊大となりたるのみか群山附錄を利用して常に群山の平和を破る記事を掲載しつゝあり近くは遊廓問題に關して無實の記事を捏造して阪上民長及其他昔日の恩人達に反噬の態度に出で啻に群山の平和を破るのみならず延ひて累を本社に及ぼしたるより斷然一切の關係を絶たれたるなりと咋忘恩者の末路も又哀れならずや

●再觀總督府醫院(中)

枯骨生

引續きに物品販賣所がある馬頭山上高燥の地商賈に遠ざかつてゐるから患者や看護婦の便宜を圖つてゐるのだエハガキ一枚一錢二厘市中のソレに比し八厘乃至一錢三厘廉い東京製のコロタイプである正宗の一升瓶がある看護婦が召むのかと問ふたら御見舞品とのことだ死ぬ近迄の不廢ぬ人があると見ゆる、施療病室は七棟ある有難いことだ、本館の背後右手に隔離室が建てられた近く移轉して從來の隔離室を消毒して普通病室に充てるとか説明される。次ぎにエッキス光線室に案内された室谷醫學士が懇切叮嚀に説明されて實地にやつて見せて呉れられた回轉高壓整流機附『レントゲン』裝置と稱して最新式のもので自分の見聞によれば日本では陸軍々醫學校關東都督府及び總督府醫院の三處にしか無い筈のものだ現今獨逸や濠西亞等でも盛んにエッキス光線を病者に應用して効果顯著なるものがあるそうだ同院でも九月來診斷上のみならず治療上にも使用してゐる。其の範圍は内外科婦人科皮膚科殊に癌腫の病氣を治療するに多大の効果がある然し未だ此の種の患者は餘り見えない醫師に見放された如な惡性の病氣の治療をやつて見たいヌソレが目的なのだからドシ〳〵來院を望むと主任の坂田醫學士と顔見合せて莞爾たる態度確信あるもの丶如くに思はれた。去る九月二十日鎭南浦區裁判所檢事藤川馬五郎氏が御自分は御存じないが立派な惡性の舌癌で既に病膏盲に入つた細君も縮めてカチ〳〵と刻み行く時の流れに連れて死の手の刻一刻夫君の上に迫り來たるを覺れて悲嘆の涙に暮れてゐた際下し得るものはアイスクリームのみ見舞はれたる寺内總督の厚守の間にも愁愁の雲が浮んだ相だ。臨終の期習しと見ねたる藤川氏の病もエッキス光線が獰猛なる舌癌の變形細胞を一回毎に破壞し行き局部の症狀は次第に良好になり二ヶ月にして全治迄に至らざるも先日歸鎭して靜養しつゝある其後の經過も頗る良好とのことに今更ながら其効力の偉大なるに一同驚嘆したとのことである。

社告

稿の御寄贈

鳥兎匆々愈極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就て本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

本紙新年附畫錄は本紙が特に邦畫の大家川端玉章翁に依囑して成りたる勅題松上鶴の祝畫にして其高尚優美なるは贅言を要せずと被信候

十二月　京城新報社

●目下の鳥の相場

▽十日後には値が上る

例年京城附近の獵場は鳥の數よりも人の頭數の方遙かに多かつたが五圓の鑑札代を要する様になつた本年は銃獵家の數も著しく減少したソレからぬか雉は少ないが雌雉等は頗る多く十羽二十羽と群をなしてゐる雁鴨等も未だ北の方で大分殘れるが寒くなるに連れ十二月下旬頃から南方に飛び二月下旬頃から歸つて來る處で昨今の相場を聴くさ雁の大が一圓二十錢小七十五錢雉番六十錢鴨(青首)同八十錢小鴨一羽二十二錢鳩十五錢鬼二十五錢といふ處で鶉は最初五十錢前後を唱へてゐたが昨今では十七八錢位だそうだ(本町六丁目増戸銃砲店主談)

●戀の小春壽太郎

▽妻子を棄て丶驅落

去二日午前二時仁川入港の神代丸より怪しき男女の正に上陸せんとする際水上係の警官出張し取調べたる處此の男女は岡山縣都窪郡福田村千七百九十五番地吉田壽太郎(三五)同所坂口小春(十六)とて壽太郎は妻子のある身ながら隣家なる小春の容顔の美しさに懸想し不義の關係を結び居たりしがトー〳〵壽太郎は妻子を捨て金五十圓を懷中し小春と手に手を取て朝鮮さして驅落さ極め込みしを生憎巡査に睨らまれ仁川署に保護中なるが國元から親爺さんが引取り來る筈なりと

●井門本店鶴吉の義俠心

▽行路病者に縮緬の袷

井門本店の鶴吉と云へば茨城縣生れで淡泊りとした藝妓なるは改めて披露しなくとも粹士諸氏の夙くより御存じの筈なるが此妓は天性義俠心深く他人が困つて居るを見たら着衣を入質してゞも救度いと云ふ方とて常に借金が増加する由なるが三日午後三時頃壽町商業會議所前街路に徐致文(三〇)なるものが行倒れ居たるを南部署警官發見し取調の結果行路病者なるより京城府廳に引渡したるが之を見たる鶴吉不憫に思ひ本縮緬の袷一枚浴衣一枚足袋一足に現金若干を寄贈したるより警官も大に賞賛したりと

●呑むこと一萬餘圓

▽不埒至極な仲買人

仁川米豆取引所不正仲買人に對する其筋の取調べは續行中なるが既報三日の中に終了したる上は檢事の起訴する處となるは一點の疑を容れずと云ふ尚ほ彼等不正仲買人中の重なる箸目、倉重の如きは八九十月限賣買に於て既に各々一萬餘圓の呑行爲をなしたるの事實判明したりと云へば監督官廳にては彼等の營業認可を取消すならんと云ふ因に取引所は尚仲買人の取調中なるを以て引續休會

●コ氏對李太王事件公判期

▽四十五年一月十五日

コールブラン對李太王殿下の訴訟事件は第二回公判に於て被告代理人より管轄違ひと治外法權撤去に對し防訴の抗辯を爲したるも該抗辯は棄却せられしより本件訴訟は來る四十五年一月十五日午前十時より民事部大法廷に於て第三回公判開廷せらる可く當日原告代理人は當地大久保辯護士は勿論原法學博士小川平吉氏等も出廷す可しと

●惡店員處刑さる

南部署に檢擧されたる淺見商店員吉村李助は懲役六ヶ月に八木喜市金子文樹は各四ヶ月に長谷川助太郎は懲役三ヶ月罰金四十圓に處せらる

●心當りは無きか

三日午後六時三十分頃北米倉町二十七番戸原歸未三(一七)は自宅前路上にて一圓紙幣一枚外銀銅貨取混ぜ一圓五十四錢及び北米倉町佐伯方渉邊と記せる寄贈印等在中の革財布を拾得屆出でたれば心當りの者は西大門分署に出頭すべし

●泥棒もする雁入

龍山元町三丁目二十二番戸寄子商井澤彦吉方雁入大分縣平民石井勘一(三四)は一日午前九時頃岡崎町大田彦太郎方に忍入り毛布二枚外二點を窃取し南部署川副蘇野の兩刑事に捕れ目下取調中

●小栗粂吉の公判

高利貸小栗粂吉の詐欺取財事件第一回公判は四日午後一時より京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長の係り兩角檢事立會の下に公判開廷せられ被告辯護人として辯護士木尾虎之助大久保雅彦の兩氏出廷したり

●長崎縣と熊本縣

長崎縣人當時若草町五十二番戸荒木老松(三十)は熊本縣人當時櫻井町八十六番戸磯野鐵藏(八十)と喧嘩し頭部に負傷せしめ南部署に引致され取調の末被害者に治療代を支拂ひ訓戒放免

●時計振興會滿會宴

京城時計商組合第二回興振會は十一月を以て首尾よく滿會を告げたるを以て十一月二十日午後六時より有明樓に於て祝賀宴を開催したるが中々の盛會にて川島會長の挨拶あり主客歡を盡して散會せり

●大年增の立小便

京城明治町仕何某妻チヨウ(三三)は三日舊龍山若松町通りの街路に於て放尿したる處を生憎龍山署の井上巡査に認められ即決科料金五十錢に處せられたり

●飲酒家の大恐慌

秋田縣人當時旭町一丁目無職石川政吉(三四)は四日午前〇時過ぎ泥醉し本町通りを徘徊し南部署に拘留五日に即決とは恐い事なり

●飲んだ金を呑む

大和町一丁目居住濱本正一は仁川仲町仁川ホテル橋本延吉方に雇れ中掛金四十七餘圓を横領したること發覺し南部署に捕はれ檢事局へ送らる

廓のうわさ

▲歌舞伎座　中村歌玉一座の歌舞伎劇
▲浪花館　若浪三一行の落語、手踊り

▲熱燗を得て鍋を思ひ鍋を思ふては鍋道樂の鮒鍋を思ふの候と相成申候、時雨ハラ〳〵雪チラ〳〵の朝に夕にチリ〳〵云はせるのは乙に候、女なぞは離くても結構ながらあつたからとて決して邪魔にも相成る間敷候間一つ二つお噂を申上候お嫌な方はお讀みにならなくとも決して訴訟なぞは提起致す氣遣御座なく候▲花月に於ける借金頭のぼいたんは千八百圓の借金を背負つて重病に罹り一時は危篤に瀕したるより樓主の頭痛鉢巻もさることゝ作ら旅に病むぼたんは憐れに候中檢藝妓連は近々連名にて慰藉訪問を爲す由に候結構な事かな『藝妓病む窓の雨や落葉』▲同家の光菊ニコ〳〵し作ら曰く『妾義太夫の師さんは無根なのよ取消して頂戴な探すのに邪魔だからよ』と巧い言を云ふかと思ふと矢庭に立上つて『サアーつ取りませう』と大平を擴げる『何を取るのか』と訊くと澄したもので『角力ですよ』と云ふ敵手にならずに居ると一人相撲を取り兼ねまじき勢應ましく候▲同家の駒助は義太夫稽古中なるが質の善くない代りほど物覺が惡く師匠から愛想を盡されて居るとは御愁傷な次第でムる哩、ウーフ、ハアハ、ワハ、、▲翡翠樓は彼の食道樂の閉店と同時に同家の仲居を全部抱ね込み仲居本位を猛烈に發揮致し居候▲同家の鯉子は海鼠と新聞記者は見た計りで腹が痛くなると申居候▲井門の政子曰く京城には惡藝妓はあるが寮藝者が無いから僕がなるんだ』とて大力味▲清華亭の大黒柱丸子重病に罹り熱に浮かされ譫語斗り中居係由なるが大方數した客の生靈が取付いてるのだらうとの評判▲同家の美形今奴は近々堅氣に成るんださて八八はやらずに活花と琴のお稽古▲元翡翠の伊達子は京城券玉家席から名も其儘の伊達子で姉のいゝ京と共稼ぎ何分御贔負にと提灯を點したからとて決して拙者と譯ある次第にてはなし同席の三幸は義太夫が上達したので義太夫の巧い人が情人に欲しいと探し回つて居る相に候(郭雀)

景品附京城聯合大賣出

賣出期間 十二月一日ヨリ同月…

抽籤場所 京城壽町 商…

及同期日 明治四十五年…

景品引換期間 自同年一月十日…
及ビ引換場所 每日自午前九…　京城日本人…

▲景品目…

景品總額七千…

內譯

壹等 金千六百圓 四拾…

貳等 金八百圓 貳拾…

參等 金六百圓 拾五圓ヅ…

四等 金貳百圓 五圓宛

五等 金貳千圓 五十錢

以下空籤ナシ

但シ買上金壹圓每

京城…事務…

加盟店ハ一定ノ…